



日本赤十字社

成田赤十字病院

成田赤十字病院 広報誌

2024年

10月号

vol. 65



日本赤十字社キャラクター

ハートちゃん

ふれあい

成田日赤に関わる方々との“ふれあい”を大切に。

医療最前線

子どもの発熱の 対処法を身に付けよう…2

医療現場のプロフェッショナル
病棟クランク…5

あなたのかかりつけ医…6

子どもの発熱の 対処法を身に付けよう

私がナビゲーターを務めます

担当科
小児科

たかはし さとこ
高橋 聡子 先生

東京都出身 千葉大学卒業

子どもたちの未来と笑顔を守るため、
心を込めた診療と親身なサポートを提供
するよう努めています。



子どもの発熱と発熱時の対応について

発熱とは、一般的に37.5℃以上の熱をさします。体が病原体と戦うための免疫反応なので、熱が高くても必ずしも病気が重いというわけではなく、急いで熱を下げる必要はありません。

小さいお子さんは39℃以上の発熱も珍しくなく、赤ちゃんの場合は体温の調節機能が未熟なため、室温や厚着などで熱が高くなってしまいうこともあります。お子さんの発熱の原因の多くは感染症で、3日ほど続いて自然に下がることがほとんどです。熱が高いというだけで脳や体の障害が起ることはありません。脳の障害の原因になる髄膜炎や脳炎といった病気では、何回も繰り返して吐く、けいれんが長時間止まらない、ぐったりして反応が悪いなどの症状が出るが多いです。



早めの受診が必要なとき

- ・生後3か月未満で38℃以上の発熱
- ・ぐったりしてほとんど動かない、顔色が悪い
- ・呼びかけてもぼんやりしている、視線が合わない
- ・呼吸の様子がおかしい(不規則、胸がぺこぺこする)
- ・何回も吐く
- ・水分が取れず、半日以上尿が出ない
- ・初めてのけいれん



診療時間内の受診で良いとき

- ・水分や食事、睡眠が取れている
- ・機嫌があまり悪くない
- ・あやせば笑う、遊ぶとする
- ・発熱以外の症状がない(ひどくない)
- ・発熱が3～4日続いているが元気



熱が出て、比較的元気で水分が取れていれば、夜中や休日の救急受診は不要です。

自宅でのケアのポイント

ご自宅で熱があるお子さんを見るときは、朝昼晩こまめに熱を測るようにして、日中のうちにかかりつけ医を受診しておきましょう。また、朝に熱が下がっていたとしても、夕方から夜にかけて再度熱が上がってくることがあるので、すぐに登園・登校はしない方がよいでしょう。寒気がして震えているような熱の出始めは保温し、熱が上がってきて手足が熱く顔が赤くなってきたら薄着にしてあげてください。お子さんが元気であれば短時間の入浴やシャワーは問題ありません。

水分補給・食事

頻繁な嘔吐や下痢がなければ、急に脱水が進むことはまずありません。少しずつこまめに水分を飲ませるようにしてください。水やお茶だけだと、塩分や糖分が不足するため、イオン飲料やジュース、味噌汁の汁などを飲むとよい



でしょう。また授乳中のお子さんの場合は母乳やミルクで十分です。

熱が高いときは、胃腸の動きも低下しているので、無理に固形物を取る必要はありませんが、食欲がある場合は消化が良く刺激の少ないものを選びましょう。

解熱剤の使い方

残念ながら解熱剤には病気を治す効果はありません。一時的に熱を0.5～1℃程下げるとご理解してください。

使用する目安としては、38.5℃以上の高熱でぐったりしている、うなされて眠れない、水分摂取ができない、どこかを痛がっている様子があるといった場合で、6時間以上間隔を空けるようにしてください。

使用する際には、病院で処方された薬か、薬局で購入した「アセトミノフェン」を使用してください。生後6か月未満のお子さんは、原則解熱剤は使用できません。また、飲み薬と坐薬の効き目は同じですので、お子さんに合ったものを選ぶようにしてください。



以前処方された解熱剤は使える？

本人用に処方されたものであれば使用していただけます。

使用可能な期限の目安としては、

- ・座薬 → 処方から1年以内(冷蔵庫に保管)
- ・粉薬 → 処方から1ヶ月以内
- ・水薬 → 処方から1週間以内
- ・錠剤 → 処方から1年以内(シートで保管)

お子さんの薬の投与量は体重で決まるため、以前処方された時点から体重が大きく変わっている場合は、病院に一度確認してから使う方がよいでしょう。

けいれん？意識障害？

熱のあるお子さんに、けいれんなのか意識障害なのか、不安になるような症状が出る場合があります。具体例を挙げて見てみましょう。

39℃の熱があって、たびたび「ビクッ」と体をふるわせる。

→けいれんではなく、無意識に瞬間的に筋肉が収縮する生理的な動き(正常な反応)

- 子ども特有のものではなく、寝入り際の大人にもみられる
- 高熱が出ていたり体調が悪かったりすると、頻回にみられることがある

39℃の熱があって、手足が冷たくブルブル震えている

- 意識がある・会話ができる状態であれば、けいれんではなく熱を上げようとするために起こっている「悪寒」の可能性が高い
- まずはあたたためて様子を見る
- 熱が上がれば、震えも落ち着き、手足も温くなる



39℃の熱があって、急におかしなことを言った。今は普段と変わらない。

- 子どもは熱が出た時、一時的に意味が分からないことを言ったり、異常な行動をとったりすることがある(熱せん妄)
- ほとんどが短時間でおさまる、様子も普段どおりに戻る
- 1時間以上改善がなかったり、けいれんを起こしたりした場合はすぐに受診が必要



くりかえす風邪

保育園や幼稚園などで集団生活が始まると、お子さんは毎月のように風邪をひいたり熱を出したりします。一度風邪をひくと、2週間ほど鼻水や咳といった症状が続き、良くなったかと思ったら、また次の風邪をひくというようなことを繰り返します。

お子さんたちが過ごす集団生活の環境では、さまざまな種類の風邪が常に流行しており、なかなか防ぐことができません。短期間に何度も入院するようなことが無ければ、他の病気を疑って詳しい検査をすることは特に必要ありません。

まとめ

- ・子どもが高熱を出しても、元気があって水分が取れていれば、慌てなくて大丈夫。
- ・熱が長引いたり、嘔吐や下痢が止まらなくなったり、ぐったりして全身状態が悪化する場合は医師の診察を受けてください。





呼吸器内科に最新の診断技術が導入！

令和6年9月に当院の呼吸器内科に汎用冷凍手術ユニット「エルベ CRYO2」が導入され、そのユニットを用いた「クライオバイオブシー」という治療方法が新たに導入されました。

クライオバイオブシーとは、肺癌や間質性肺炎の診断及び異物除去などに非常に有用とされ、窒素または炭酸ガスをプローブ^(※)内に循環させて、組織を凍結(-45℃)採取する新しい技術です。組織を凍結させることで、損傷が少なくより大きな組織採取が可能のため、高い診断率が報告されています。診断率が高まる分、出血や気胸の合併症の頻度がやや高いとされていますが、安全性に取り組む技術も向上しており(バルーン止血法)大変有用な技術とされています。欧米では以前から用いられており国内でも2017年3月に保険適用となっています。

当院ではこの新しい技術を導入し、地域の皆さまの診断の精度向上に努めます。

(※) プローブとは…機械の先端部分にある、患者さんの体の一部を採取するための医療器具のこと



提供：株式会社アムコ



赤十字KIDS CROSSで看護師体験



8月3日(土)にイオンモール千葉ニュータウンにて、千葉県赤十字三施設合同イベント「赤十字KIDS CROSS」を開催しました。

このイベントでは、小学生を対象に、ナース服や医師の白衣を着用してもらいながら、注射や傷の手当・聴診器の体験を行いました。夢中になって何度も注射を体験する子どもたちや、聴診器で親御さんの心音を聴いて喜ぶ姿がとても印象的でした。

子どもたちが医療の現場に興味を持ち、将来の夢を見つけるきっかけとなればと思います。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

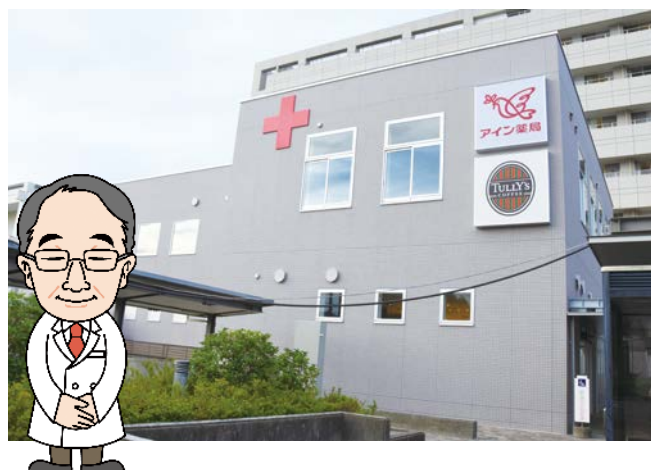


アメニティー棟オープン！ より便利に、より快適に

令和6年10月1日(火)に、第1駐車場敷地内(西側敷地内)のアメニティー棟がオープンしました。

この新棟1階には敷地内薬局やコーヒESHOPが並び、2階の会議室は当院の公開健康講座の開催会場のひとつになります。

当院をご利用される皆さま、また近隣住民の皆さまには工事期間中大変ご迷惑をおかけしました。



病棟クラーク

患者さんだけでなく病棟スタッフを陰で支える現場の潤滑油。

▶ 病棟クラークとは？

主に病棟のナースステーションで入院患者さんの請求書を作るためのパソコン入力や、書類の整理、必要に応じて患者さんやご家族に保険や公費の説明をしています。また、入院する患者さんや面会のご家族の対応、院内外からの電話の対応もしています。

私が担当の病棟では主に泌尿器科、総合内科、リウマチ・アレルギー内科、皮膚科など幅広く扱う病棟なので、患者さんやご家族はもちろんのこと、看護師やいろいろな科の先生や検査技師など、さまざまな職種の方と接する機会があります。

▶ 医療事務を志したきっかけは？

以前何度か入院していたこともあり、医療従事者に対して身近に感じていて、漠然と病院で働きたいと思っていました。その中でも、医療行為など直接患者さんに関わるのではなく、患者さんや医師・看護師をサポートできるような仕事が自分に向いていると思い医療事務を目指しました。

専門学校に2年間通い、調剤事務や介護事務、歯科事務、医療秘書、医事コンピューター、接遇など、在学中はより多くの資格取得のため勉強に励んでいました。また、2年次からは小児クラークのコースを選択し、子どもの発達や心理学についても学びました。

▶ 働いていて大変だったことは何ですか？

入職1年目に新生児の病棟に配属になり、学校で学んできた小児クラークよりもさらに小さなお子さんの病棟を担当することになりました。お子さんの出生体重や週数により、それぞれ対象になる公費の種類が異なり、また住まいの地域によって手続きの案内先が異なるため、まずそこを覚えることに苦労しました。自分でメモを書き足しながらオリジナルのマニュアルを作って対応していました。

▶ どのような時にやりがいを感じますか？

退院した患者さんが後日来院された際に、院内で気軽に声を掛けてくださり、嬉しく感じたことを覚えています。病院の事務職の中でも、患者さんやご家族から直接感謝の言葉をいただけることも病棟クラークの魅力の一つかもしれません。

また、平日に休みを取った後に、病棟の看護師さんから「いてくれると助かるよ」と言ってもらえると、現場が円滑に動くために自分も役に立っているのかな、とやりがいを感じます。

▶ 今後の目標は？

患者さんやご家族が声を掛けやすいよう、丁寧に接することをまずは日々心掛けていきたいです。また、病棟でのさまざまな問い合わせにも対応できるよう、保険点数や医療の知識をさらに深めていきたいと思っています。そのためにも現場で常に学ぶ姿勢を大切にしたいと思います。



ながおか みさき
病棟クラーク 長岡 美沙樹さん

長岡さんのある一日の業務

8:30	出勤
	退院会計準備、パソコン入力、予定入院対応
12:30	昼食
13:15	予定入院対応、面会対応、退院対応、翌週の準備
17:00	業務終了



病棟スタッフと和気あいあいと話す様子



請求書を作るための入力作業の様子

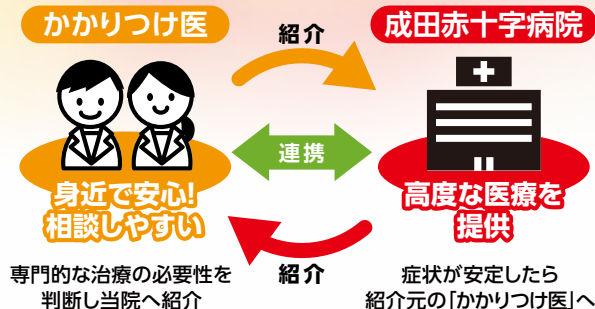
お持ちですか?

地域医療連携

あなたのかかりつけ医

当院では、適切かつ高度な医療サービスを患者さんに提供するために「かかりつけ医」(地域の開業医)と連携しています。身近で安心な、相談しやすい「かかりつけ医」をもちましょう。

※当院では、内科、外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、脳神経内科、歯科・口腔外科、整形外科の初診は、紹介状をお持ちの患者さんのみとなります。



越部 融 院長

医療法人社団慧友会 こしベクリニック

千葉大学小児外科に入局後、大学院で4年間の研究生生活を送りました。その後、さまざまな公立病院で臨床経験を積み、平成8年4月に小児科・内科・小児外科を併設したクリニックを開院しました。新生児からお年寄りまで幅広い年齢層の患者様を診察させていただいています。

また、小規模ながら在宅診療も行っています。そのため、成田赤十字病院との医療連携は、非常に重要なものであり、今後とも地域医療を支える担い手として、引き続きご協力をお願い申し上げます。

これからも、年齢を問わず診療させていただきたいと思います。



診療メモ

〒285-0811 千葉県佐倉市表町3丁目18-14
TEL 043-486-0200

診療科目 小児科・小児外科・一般内科・胃腸科
訪問診療

診療時間 9:00~12:00、15:00~18:00
※土曜午後は14:00~16:00

休診日 水曜、日曜、祝日

医療法人社団みさと会 美郷台木内クリニック

成田市にある美郷台木内クリニックは1996年4月に開院し、内科・胃腸科・整形外科・循環器科・リハビリテーション科などの診療を行なっています。生活習慣病など内科系の疾患に加えて、内視鏡検査も行っており、整形外科では腰痛や肩こり、スポーツや交通事故による外傷などの診療も行っています。

水・土曜日は、院長・副院長の2人体制での診療を行っており、副院長は循環器を専門としていて、生活習慣病をはじめ心臓における血管病や不整脈にも精通しています。また、ぜんそくやCOPD(慢性閉塞性肺疾患)などの診療にも対応しています。皆さまのお役に立てられるよう、今後とも取り組んでまいります。



診療メモ

〒286-0013 千葉県成田市美郷台1-13-10 TEL 0476-23-5551

診療科目 内科・外科・胃腸科・整形外科・循環器科・肛門科・リハビリテーション科

診療時間 9:00~12:00、15:00~17:30

※土曜午後は13:00~14:30

※循環器科は水曜、金曜(15:00~17:30)、土曜のみ

院長 木内 宗三郎 先生 副院長 木内 一貴 先生

休診日 木曜、日曜、祝日



成田赤十字病院基本理念

赤十字の基本理念に基づき、患者さんの権利と医療人としての倫理を守り、医療の質の向上と患者さん中心の「こころあたたかい医療」の実践に努めます。

成田赤十字病院 広報誌 ふれあい 2024年10月号

〒286-8523 千葉県成田市飯田町90番地1

TEL.0476-22-2311(代) <https://www.narita.jrc.or.jp/>



成田赤十字病院基本方針

1. 地域の皆様から信頼される病院を目指します。
2. 救急医療の充実、安全でより高度な医療の提供に努めます。
3. 地域の医療・福祉との連携強化に努めます。
4. 国内外の医療救援活動に積極的に参加します。
5. 健全な経営と働きがいのある病院を目指します。
6. 赤十字病院グループの一員として赤十字活動の普及に努めます。